

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

日本技術士会へ入会して12年目を迎える年となりました。干支であれば一周する記念すべき時に執筆させていただけることに感謝しております。

当会へ入会してからは、主に青年技術士交流委員会にて、諸先輩の方々や、志を同じくする皆様と楽しく研鑽させていただきました。青年技術士交流委員会で活動できる期間も残すところわずかとなってきており、感慨深い思いであります。

思い起こせば「技術士」との出会いは、現職へ転職する前に勤めていた建設会社時代でした。「技術者として、もっと自己を修養できる方法はないのだろうか？」と道を探していたところ、素晴らしい技術士の皆様との出会いがあり、目指すべき道が開けた感覚でした。創意工夫しながら、より良い状態になるように学びを実務へ活かし、社会インフラを造りあげていくステップが好きなことに気が付いたのも、この時期だったと記憶しております。これまでの技術者人生を充実させてくれたのは「技術士」の諸先輩の方々のご指南や、同志のおかげだと確信しております。改めて、皆様に感謝申し上げます。

近頃、自身の成長の鈍化を感じていた折に、古典の四書のうち「大学」との出会いがありました。そのうち、三綱領にとっても感銘を受けました。「大学の道は、明德を明らかにするに在り。民に親しむに在り。至善に止（とど）まるに有り。」いろいろな解釈があるようですが「自らの持つ本来の徳（強みや価値観）を見つけ、自己の最善を他者に尽くしきること。人々と親しく交わり、社会全体に徳を広めること。最善の状態に至り、それを維持すること。」と理解しております。資質の向上と、技術士会での楽しい活動・交流により、至善に止まることを意識し、明德を明らかにしていきたいと思っております。

平岡 城栄 (ひらおか せいえい)

● 総合技術監理部門、建設部門

勤務先

明治コンサルタント株式会社
技術本部 北海道技術部



→次号は、笹森健太さん(建設部門)

私は文系の高校卒業まで岩手県盛岡市で過ごし、その後2年間、本州各地で出稼ぎしてから一念発起し、20才の時に北海道の土木系短大へ進学しました。その後、縁あって現在の会社で約20年、河川計画・構造物設計の業務に携わっています。

私自身、文系出身で科学系の基礎知識が少ないと感じていたので、色んな社外講習会・勉強会に積極的に参加し、分からないけど耳を慣らす訓練をしていました。そんな時期に、東日本大震災が発生しました。幼少期を過ごした岩手県の被害状況を見て、防災の歴史・情報を伝える力や技術力・説得力をもっと早く身に付けなければならないと強く感じ、技術士一次試験からスタートして2018年(平成30年)に技術士を取得することができました。

合格後から今年度の卒業まで6年間、北海道本部青年技術士交流委員会の活動に関らせていただきました。委員会では先輩はもちろん、自分より若く優秀な方々と深く関わり、多くのイベントにも運営・参加させてもらったことで、情報の伝え方や多面的な考え方等、多くの学びと刺激を得ることができました。また今年度開催された第50回技術士全国大会(札幌・北海道)では、全国の青年技術士をおもてなしするWGで活動したことでメンバーとの結束も高まり、全国の技術士の方々との交流も含めて多くの仲間ができたことが人生の財産になりました。関わっていただいた皆様ありがとうございました。

最近は次世代への継承にも興味湧いてきたので、人とのつながりから得た学びを活かして、地域の子どもたちに分かりやすく防災や科学技術等を伝えていけたらと考えています。小さなことでも少しずつ、実現に向けて継続研鑽していこうと思っております。

太田 真吾 (おおた しんご)

● 建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)

勤務先

和光技研株式会社



→次号は、中村和隆さん(建設部門)